

福祉文教常任委員会協議会 説明資料

令和8年1月27日

GIGAスクール構想に基づく1人1台端末の更新等について

資 料

1. 本事業による環境改善	1
2. GIGAスクール構想	1
3. 実施の背景と必要性	1
4. 予算編成状況	2

学校教育課

GIGAスクール構想に基づく1人1台端末の更新等について

令和8年度から町内全ての小中学校において、更新時期だからと単に端末を入れ替えるのではなく、国の補助金等も活用し、学校ICT環境の再構築を行い、子どもの学びの質を更に向上させることを目的とする事業の概要を示します。

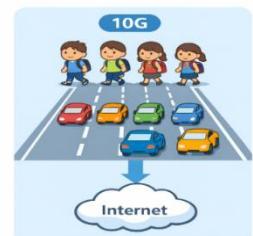
1. 本事業による環境改善

今回の更新では、国の推奨環境に基づき、現在の課題を解決する機能を付加。

(1) 最新端末(iPad)の配備：児童生徒用(2437台)、予備機(320台)、教員用(182台)合わせて2639台(現在2489台)のiPadを新たに導入。これにより、全児童生徒がより最適な状態で端末を活用可能。



(2) 通信の高速化：現在の1G(ギガ)回線から**10G回線へ改善**し、大規模人数での動画の同時視聴等にも対応できるネットワークを構築する。



(3) ICT機器の拡充：全教室へモニター(100台)と各校へ電子黒板(11台)を配備し、デジタルドリルやフィルタリングソフトの導入、加えて生成AI活用を推進。

2. GIGAスクール構想

1人1台端末や高速大容量の通信ネットワーク等の学校ICT環境を整備・活用することによって、教育の質を向上させ、全ての子どもたちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現することを目的とする。

3. 実施の背景と必要性

(1) 機器の老朽化：令和2年度に導入した1人1台端末やネットワーク環境が**導入から5年以上経過**し、端末の劣化やバッテリーの寿命が課題。

(2) 国の補助金の活用：端末更新費用の2/3を国庫補助金で賄うことが可能なタイミング。

(3) 学びの継続： 機器の故障リスクが増大する中で、安定した学習環境を維持するためには小・中学校とも一括更新が不可欠。

4. 予算編成状況（構成の概要・令和8年1月16日現在額）

(1) 歳出について (万円)

区分	事業総額 4億6857万						
	R8 (7か月)	R9	R10	R11	R12	R13 (5か月)	計
iPad 端末 	1億 3,841	—	—	—	—	—	1億 3,841
教育用デジタル機器（モニタ、電子黒板など） 	4,277	—	—	—	—	—	4,277
デジタル学習環境の充実 (授業支援ソフト、デジタルドリル、フィルタリング等) 	1,694	2,904	2,904	2,904	2,904	1,210	1億 4,520
校内ネットワーク賃貸借 	1,658	2,844	2,844	2,844	2,844	1,185	1億 4,219
計	2億 1,470	5,748	5,748	5,748	5,748	2,395	4億 6,857

(2) 歳入について

○公立学校情報機器整備費補助金 **8,600万円**

○デジタル活用推進事業債 **4,500万円**